

—写真訪問①—

寿 都 測 候 所

寿都は明治中頃、にしん漁の中心であったことから、安全操業を願う漁民の要望と、北海道開拓に伴う気象調査の必要から設立された。

創立は1884年（明治17年）6月1日、道内で4番目の観測所として設立されて以来100年余にわたり、地域産業の災害の軽減に大きな役割を果たしている。

その後、増改築が行われたが、近年の新型機器類の導入で狭くなったため改築されたものである。

新庁舎は、鉄筋コンクリート2階建て合同庁舎で1階は函館法務局寿都出張所、測候所は函館地方検察庁寿都支部と共に2階に入居している。

なお、測候所の位置、広さなどはつぎのとおりである。

所在地 北海道寿都町字新栄町 209 番地

庁舎面積 3,825.8 m²

測候所面積 1,070.8 m²

